

読みなしゃい!

慈愛会 地域福祉部会 かわら版

Vol. 01

H29年10月発行
発行:社会福祉法人慈愛会
法人地域福祉部会

「地域福祉部会かわら版」は、社会福祉法人慈愛会「地域福祉部会」が、当法人と地域の皆様との様々なつながり・取り組みをご紹介するための広報紙です。

パイオニアーズ様の施設見学・交流

6月に、主に福岡市で活動されているアメリカ人牧師様グループ「パイオニアーズ」の皆様が日本文化や福祉の学習と施設見学を兼ねて、当法人施設にご来園くださいました。各施設での様子をお届けします♪

6月19日(月) 清心乳児園(大刀洗町)



職員より

「子ども達との交流はとても微笑ましく、歌や踊りを通して心の距離も縮まり、いつの間にか抱っこされている姿に職員一同感激しました。子ども達の純粋な気持ちを通じて人と人とのつながり、温もりを感じ、楽しいひと時でした」



6月21日(水) 養護老人ホーム篠原の里
しのはらの里デイサービスセンター(糸島市)

職員より

「施設見学だけでなく、ピアノやギターの演奏にあわせ多数の日本語と英語での歌を披露され交流も深めることができました。また、英語が堪能な利用者をはじめとして異文化コミュニケーションを楽しみました。日本語の歌のうまさにご覧の皆様感心しきりでした。楽しいひと時をありがとうございました」



5月3日（水） 地域交流会（大刀洗地区）



恒例となりました地域交流会。今年もたくさんの方のご来場頂きました。総参加数は1,300人を超えました。大盛況だった模擬店ではどのメニューも賑わっていました。レクレーションコーナーでは、こども達のたくさんの笑顔がありました。バザーコーナーの収益金は支援金や物品等として被災地や世界のめぐまれない子ども達へ送らせて頂いています。

今年も、地域の方々や学生ボランティアの方々のご協力によって開催することが出来ました。ありがとうございました。

社会福祉法人 慈愛会の各施設では、以下のような目的で地域交流会を開催し、多くの方に参加・協力いただいています。

- ①地域の皆様に施設への理解を深めていただくための交流の場とする
- ②近隣地域行事の一環として楽しんでいただく
- ③利用者様・ご家族様の交流の場とする



「ほっ」と コラム

人生100年時代…。
訪問するお年寄り宅で、
よくお見かけする心得を
ご紹介します。

【長寿の心得】

～わが人生は、60歳から～

- ・70歳でお迎えの来た時は、まだ留守と云え
- ・80歳でお迎えの来た時は、
まだまだ早いと云え
- ・90歳でお迎えが来た時は、
そう急がずとも良いと云え
- ・100歳でお迎えの来た時は、頃をみて
こちらからぼっぼっ行くと云え



編集後記

上記に記載させて頂いた地域交流会。毎年、敷地内グラウンドで行っています。今年は天候にハラハラさせられました。ここ20年、ほとんど晴天ばかり。開会后、正午過ぎから遠い空に黒い雲。隣町には雷・豪雨注意報。今年に限って、水濡れ厳禁な音響機材をレンタル。濡らしての故障はペナルティ金が発生。交流会の進行と雨雲の進行に、内心、一人であたふた。その後、運営陣から進行の前倒しの英断。難を逃れました。油断大敵です。（清心慈愛園・辻）